

青少年の体験活動の定義及び効果の考え方について

体験活動の定義及び効果等については、中央教育審議会の答申等において、以下のとおりされている。

1 体験活動の定義について

主として「体験を通じて何らかの学習が行われることを目的として、体験する者に対して意図的・計画的に提供される体験」とする

体験活動は、その内容に応じて大きく3つに分類される。

1) 生活・文化体験活動：

例えば放課後に行われる遊びやスポーツ、地域における年中行事など

2) 自然体験活動

例えば登山やハイキング等の野外活動や、星空観察や動植物観察といった自然・環境に係る学習活動など

3) 社会体験活動

例えば、ボランティア活動や職場体験活動、インターンシップなど

2 体験活動の効果について

- 独立行政法人国立青少年教育振興機構が実施した調査では、子どもの頃、「自然体験」、「動植物との関わり」、「友達とのかかわり」、「友達との遊び」、「地域活動」「家族行事」、「家事手伝い」といった体験が多いほど、「自尊感情」「共生感」「意欲・関心」「規範意識」「人間関係能力」「職業意識」「文化的作法・教養」といった「体験の力」が高い傾向にあることが明らかになっている。

- 発達段階に応じて効果的な体験活動が異なるとされており、主として、
 - ・ 小学校低学年までは「友達との遊び」や「動植物とのかかわり」等
 - ・ 小学校高学年から中学校までは「地域活動」や「家事手伝い」、「家族行事」、「自然体験」等が体験の力に関係している。

- 学習指導要領では、主として小学校では、集団宿泊活動や自然体験活動、中学校では職場体験活動、高等学校では就業やボランティアにかかわる体験的な学習を行うこととされている。学校・家庭・地域で体験活動を実施する際には、こうした発達段階に応じた体験活動を行うことが効果的である。

「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」（平成 22 年 10 月）より

（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

○年齢期別「体験の力」との関係が見られる体験（成人調査）

体験の力	年齢期			
	小学校に通う前	小学校低学年	小学校高学年	中学校
自尊感情			地域活動	地域活動 家族行事
共生感		友達との遊び 動植物とのかかわり	地域活動	自然体験 地域活動 家族行事
意欲・ 関心		友達との遊び	自然体験	自然体験 地域活動
規範意識	友達との遊び	友達との遊び 動植物とのかかわり 家族行事	友達との遊び 家事手伝い	家族行事 家事手伝い
職業意識	友達との遊び	動植物とのかかわり		家族行事 家事手伝い
人間関係 力	自然体験	友達との遊び 動植物とのかかわり 家事手伝い	地域活動	友達との遊び 地域活動 家族行事 家事手伝い
文化的作 法・教養		動植物とのかかわり		地域活動 家族行事 家事手伝い

「小学校・中学校・高等学校 キャリア教育推進の手引き」（平成 18 年）より

（文部科学省）

○小学校・中学校・高等学校におけるキャリア発達と職場体験等の関連

区 分	小学校	中学校	高等学校
キャリア発達 段階	進路の探索・選択にかか る基盤形成の時期	現実的探索と暫定的選 択の時期	現実的探索・試行と 社会的移行準備の時期
体験的活動 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の探検 ・家族や身近な人の仕事 調べ、見学 ・インタビュー ・商店街での職場見学 ・中学校の体験入学 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や身近な人の職業 聞き取り調査 ・連続した 5 日間の職場 体験 ・子供参観(家族や身近 な人の職場へ) ・ジョブシャドウイング ・上級学校の体験入学 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ(事 業所、大学、行政、研究 所等における就業体験) ・デュアルシステム ・上級学校の体験授業 ・企業訪問・見学